

かち ど き
勝 土 記

1998 / 11 (第1号)



コスモスRFC

1981年夏頃に、県庁職員を中心としたラグビー経験者等によりコスモスRFCが同好会として産声をあげた。当時のラグビー界は、新日鉄釜石の全盛時で、大学では関東は早明、関西は同志社がめっぽう強く、それぞれのチームに松尾、本城、吉野、平尾、林、大八木等のスター選手がおり、サッカーをしのぐ人気があった。また、ラグビーマガジンが人気スポーツ雑誌として、書店でもよく目に付いていた。テレビでは[スクールウォーズ]が流行し、ラグビー人口もこの頃がピークだったよう思う。

県内では、バイソンが強く、バイソンOBのオールドボーイの2チームに、阿波クラブが加わって、県大会の決勝戦を戦っていた。その後81年の11月頃に、当時の主力となるメンバーが加わり、ぎりぎりではあるが、コスモスとして練習試合をできるようになった。

まずチームの名称であるが、1981年の夏の終わり頃であったと思う。発足の時のメンバーが、仕事を終えた後、旧の県庁舎の企画開発部地域振興課に集合し、名前を決めようということになった。ファルコンズ、コスモス、ダンディライオンズなどなど、いろいろな名前が出されたが、なかなか決まらない。そこで投票しようということになり、一人2つずつの名前を書き、1番多いものをチーム名にすることとなった。そして投票の結果、「コスモス」に決まったのである。当時、宇宙天文学者のカール・セーガンが書いた「コスモス」という本が、ベストセラーとなっていたという状況があり、多少なりの影響を受けたと思う。コスモスは「宇宙」という、限りない未知の可能性やスケールの大きさを表すとともに、美しく咲く花の[コスモス]という、2つの意味を兼ねている。同時にユニフォームを作ることとなり、中本、新田、竹内氏らを中心に、最初のユニフォームとして、えんじ色に、胸に黄色のラグビーボールがついたものを作った。なにしろ経費がわずかであったために、ササクラスポーツのご主人には安くしていただいた。最初のコスモスラグビークラブの会則原案を作成したのもこの時であったと思う。

発足当時のコスモスは、チームはできたもののメンバーが足りず、練習試合すらできなかった。当時の練習は、主に城南高校のグラウンドを使用させていただいた。当時、平野氏が、城南高校ラグビー部のコーチをしていた関係で、笠井先生に無理をいって、グラウンドだけでなく、タックルマシンやボール等も使用させていただいた。高校生とも練習試合をさせていただいたが、殆ど勝ったという記憶がない。雨天の場合にも、体育館等で基礎体力トレーニングをしていた。とにかく試合がしたいという思いで、経験者、非経験者を問わず声をかけ、メンバーをかき集め、いつかできるであろう試合を夢見て練習をしていた。

公式戦出場のためには協会に加盟する必要がある。そこで、チームを代表して、福田、梶崎の両氏が、城南高校で開催されたラグビー協会の会合に出席し、加盟の申し込みを行った。ところが、他のチームから、実績がないこと等を理由に「すぐには加盟を認めない」という意見が出された。両氏は、他のクラブチームと同じ扱いにしてくれるよう強く抗議したが、「きちんと練習ができ、クラブとして存続できるかどうかを確認できるまで加盟できない」ということになり、一年間加盟が見送られた。この扱いには、温厚であった梶崎氏でさえかなり怒っていた。

とにかくメンバーを15人集めて練習試合を行い実績を積んでいかなければならない。

練習試合の相手としては、重本氏が徳島大学LTのキャプテンをしていた関係で、徳島大学LTが多かった。そのほかにも、徳島大学医学部やARC、友惑クラブなどとも試合をした。しかし、メンバーも十分に集まらない中での試合のため、ボックスの選手がスクラムを組んだり、全くの初心者でも1列目を組むこともあった。また、脳震盪を起こすなど怪我をすることもあった。

そして、コスモスの公的な意味での初試合は県民スポーツ祭1982年11月7日、相手は友惑クラブだった。ラグビー初心者もメンバーの中にいて、この者にとってはラグビーデビュー戦になった。結果、28-4の快勝。この後、数試合をこなした。そのうち平野氏の縁で城南高校ラグビー部の出身者や大学ラグビーの経験者もメンバーに加わり、また、そのメンバーの縁で加入者が増え、ようやく試合らしい試合をできるようになった。

当時の監督の平野氏からは、「公式戦に出るからには、メンバーが足りないということで試合を棄

権することは、相手にとって失礼である。みんな仕事もあるがその覚悟はできているのか」と、公式戦にでるための覚悟を教えられた。1983年になって、念願の協会への加入をはたし、公式戦に出られるようになった。しかし、部員は20数人、けが人や仕事の都合で来れないなど、いつも人数はぎりぎりだった。

当時、クラブ員も少なかったため、ボールを買うのにも苦勞をした。会費については、設立当初の資料によると、入会時1500円、毎月500円とある。そうした苦しい時に、暮家門のマスターの岸野さんが、試合の度にボールを寄付してくれたことには、クラブ員全員、本当に感謝の気持ちで一杯であった。また、忘年会のときには、平野氏からの大量の魚の差し入れをおいしくいただきながら、公式戦出場への決意を新たにしていた。

コスモスの公式戦初試合は、1983年1月30日、相手は徳大LT、場所は吉野川河川敷グラウンド、緊張の中、試合が始まった。前半リードして折り返したが、後半、もう少しのところミスが出て、結果は4-6の逆転負け、記念すべき1勝はおあずけということになった。

県大会での初優勝は、1985年11月の四国クラブチーム選手権の県予選であった。わずかに、公式戦にデビューから3年弱での快挙であった。準決勝で、宿敵バイソンに対し10-4で念願の初勝利を収めた。そのときのクラブ員の喜びは、本当に大きなものであった。その試合でスクラムの1番を組んだ前川氏が、真っ直ぐ組まず、横から相手の3番と組み合っていたことは、今でも記憶に残っている。決勝でも阿波クラブに10-7という接戦であり、まさにこの大会は気力の初優勝であった。この祝勝会を兼ねた忘年会に、現GM山下氏が京都での寿司の修行を終え、徳島に帰ってきてコスモスに登場することになる。また、このコスモス優勝がきっかけでバイソン単独で出場していた国体予選にも、全徳島として出場するようになり、県外遠征等でいろんな経験が積めるようになり、県ラグビー界全体のレベルアップが図られるようになった。しかし、当時の遠征の移動は公共交通機関の乗り継ぎで、遠征費も自費参加であった。他県の選手が貸し切りバスで移動しているのを横目に、重い荷物を肩に担ぎ駅まで歩いた。次の目標は、貸し切りバスでの移動であった。

84年以降、毎年即戦力の優秀な新人が加入するようになり、発足当時のメンバーも高齢化等からだんだんと試合に出られなくなって、応援に回るようになった。コスモスも創部から17年、在籍したメンバーも100人を越えるようになった。コスモスで過ごした時間はそれぞれ違うけれど、今のコスモスを育ててきた。練習は厳しく、試合は楽しみ、夜は本能のままに。今、活躍している現役部員を励まし応援していこうではないか。我々育てたコスモスのさらなる発展を祈って。

平野 晶彦

日曜日の朝十時。一週間が待ち遠しい。若いみんなの足手まといになりながら、一步も二歩も遅れて身体を運ぶ。

時々目を細めてメンバーの動きを見てしまう。仕事、立場、年齢それぞれの違いを感じさせない、良い集団に育ったものだと思う。

チームの出発の日から、私は私のできる努力をし、その後も次々と「ラグビーが好き」、「コスモスが好き」という有能な若者たちに恵まれ、こんなにも良いチームに育ってきた。

負けることの悔しさよりも、何倍も味わったメンバーが集まることのむずかしさ。

勝つことの喜びは、ゲームの後のビールやダンスが、何十倍にもしていった。長いものである。少し感傷に浸ってしまう十六年間であった。

個人的な問題として母の葬儀のお礼をこの場を借りてチームとメンバーにしたいと思っていた。

最後に”コスモス”を生み、育てることに少しでも関わった人たちへ感謝し、動かない身体をもう一度グラウンドへ運ぶことを提案したい。若いメンバーたちにまじって、我々のチームが育っていくのをいっしょに感じて行きたいと思う。

平成9年12月7日。松下君が、身体の具合が悪く激しい運動を医師に止められた。そして、主務としてチームに貢献していきたいと発表した。プレイすることだけがすべてじゃない。拍手をしてフィールドから送りたい。そして、頭を下げて彼に難しい仕事をお願いしたい。

47歳の平野



初代監督 平野 晶彦

初代キャプテンより

中本 頼明

一番最初のことの起こりは、県庁職員で高校や大学などの学生時代にラグビーを多少かじった者が、運動不足を解消するために練習をしようというので、何人かが集まって「楯円球の球」を追いかけていたと思います。そのうちに、段々と試合形式のまねごとがしたくなり、人数を集めるため、今まで全くラグビーをやったことがなくても興味のある人に声をかけていきました。また、県庁だけでなく、知人をたどり教職員や企業の方など広く誘いかけていった結果それなりの人数となり、練習もそれなりの体制が整ってくるようになりました。

そうすると、やはり相手のある試合をやりたくなるのが人情というもので、チーム名とキャプテンを決めなくてはならないということになりました。キャプテンはあまり練習熱心でない、不肖私「中本」がやれという仰せがあり、なぜか初代のキャプテンを務めさせて頂くことになったのです。

次に、名前を決めることになり、いろいろと案はあったような気がするのですが、結局、この”コスモス”という名前になりました。今にして思えば大変良い名前だとしみじみ思います。この”コスモス”というチーム名の由来ですが、可憐な花のコスモスと際限の無い宇宙という意味のコスモスを掛け合わせて決めたという記憶があります。(もうすでに18年前のことなので定かに覚えておりません)

以来、メンバー各位の活躍により、設立当初においては想像もしなかったこのような輝かしい成績を残してくれたことをたいへん嬉しく思います。また、各方面からのご支援に感謝申し上げるとともに、今までの全メンバーのそれぞれの立場でのご努力に対して、衷心より敬意を表したいと思います。

昨今、花園を目指す高校ラグビーが少なくなり、予選出場校も一桁とのことを聞き、寂しく思いますが、我々”コスモスRFC”のメンバーはいつの時代も「楯円球にかける青春」の如く、若さを保ち、躍進していくことを確信しております。

万歳！ コスモスRFC



初代キャプテン 中本 頼明

現キャプテンより

渋谷 武志

今から約10年前、私は城南高校の学生で毎日放課後グラウンドを走り回っていました。当時コスモスは城南高校のグラウンドで練習しており、日曜日になるとコスモスのごっつい人がグラウンドにやってきて、私たち高校生によく稽古をつけていただきました。コスモスの選手は私たちのあこがれで、大変偉大な存在でした。私もそのコスモスに入部して約4年、コスモスの主将に就任させていただいて二年目を迎えることができました。この一年間はラグビーとクラブチームに対する考え方が大きく変わった一年でした。

現在コスモスの現役選手は約三十名所属しており、県下ではもちろん四国でも最大のクラブチームに成長しております。

クラブチームの存続は難しいとよく言われますが、なぜ、コスモスには人が集まってくるのでしょうか。それは、コスモスがチーム・人の和を大切にするというカラーを強く持っていることにほかならないと思います。コスモスにはそうした雰囲気があふれ、その和に入ることですべてとても心地よい気分になれることをみんなが知っているのでしょうか。

クラブチーム・コスモスは「和」で勝負に勝ち、「和」がない時は負ける。クラブチーム・コスモスはもちろん勝つこと、強くなることも目的だが、勝つことだけが目的でない。

15年という長い間、コスモスの活動に携わった数多くのラグーマンに心より感謝し、これからのコスモスの限りない成長をお約束します。



現キャプテン 渋谷 武志

ラグビー協会登録のためのクラブ概要書

名称 コスモス ラグビーフットボールクラブ

代表者 氏名
住所

会員数 25名

連絡先 昼間
(TEL)

夜間

クラブの概容

1. 設立の主旨

当クラブは、ラグビーフットボールを通じて、クラブ内外の人々との交流を図るとともに、各人の身体及び精神を鍛え、広く社会生活に資することを目的とする。

2. 設立の経緯

当クラブは、昭和56年の11月に、ラグビーを愛好する数人によってクラブ結成の準備が進められ、同11月の末頃約20名の会員をもってラグビークラブとして発足した。

設立にあつての会員としての条件は、長くラグビーを続けていく意思を有し、真にラグビーを愛する者、ということであり、年齢、経験は問わない。

3. 練習

現在、当クラブは、週に一度、日曜日の午後、練習を行っている。練習場所は、吉野川コート、城南高校グラウンド、河川敷等を利用している。また雨天の場合にも、青少年センター、学校体育館で基礎体力トレーニングを中心に練習を行う。

また、「回数多くないが、他のチームとの練習試合を行っている。試合時間等、公式戦とは少々異なる。試合結果については、現在のところ有利芳しくない。

4. クラブ構成員

当クラブの会員の約半数が城南高OB。その他市立城北、富田等のOBであり、また職業別にみると公務員(県庁、警察、教員)が多く、その他民間企業、自営と様々である。

5. その他

会費は、1会時1500円、月500円にあり主にボール代、グラブ代、医薬品、飲料等に供される。また、年に3~4回程度の総会を開くこととしている。

コスモス公式戦 初参加の新聞記事

1月29日 土曜日 昭和58年(1983年)1月29日

【高】 昨非の貴大会
 勢強後手しを
 一新 戦力高が 今回昨
 年の川島の上を越え選手
 が 貴大会を 優勝権 守り
 へと 勢強後手しを 守り
 いるものいすれも勝たり負け
 たりでとが 後手しを 守り
 想つがなし 非非の貴大会
 勢強後手しを 守り

予断を許さぬ高校

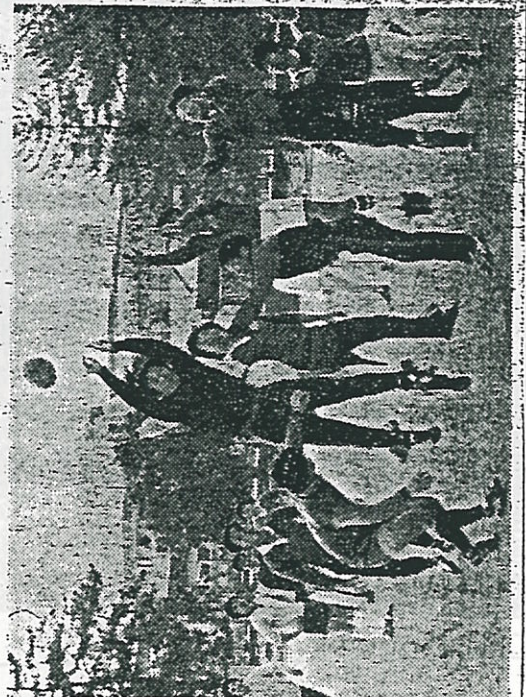
一般はハイソーンが有力

第三十回県選手権 一般男子バレーボール大会
 徳島市立門工町南工東内馬波工北工西工二般の部
 徳島市立門工町南工東内馬波工北工西工二般の部
 徳島市立門工町南工東内馬波工北工西工二般の部

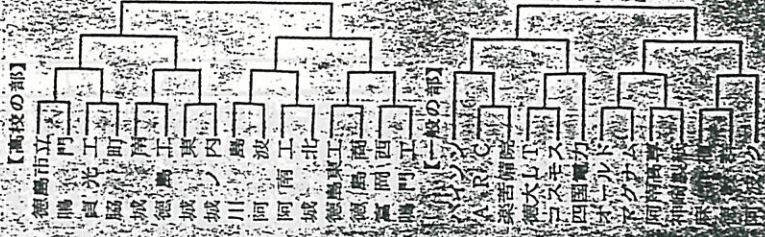
県ラグビー選手権

あまぎの力

余りに劣化となが、早分。さらにも、慶の選手
 なら二三年生体のチーム作
 けをよき選手に作り、そ
 う。徳島市立門工町の八
 プの勢強後手しをの部力。取
 勝はアールとハイソーンは
 粘り強く、選手のままりの面
 でばかりは負けない。城は県内
 の強豪の8校のなかで、アール
 の勢強後手しを18、ハイソ
 ンの香川のWが地方を勢強出
 るかどうかが、このところ戦
 力差でより、選手の内定戦
 する上、戦力差は、前回は勝
 の城はバングと、勢強後手しを
 えた。センター赤木中と、こ
 下があり、F.B.香川の選手
 加もあり、勢強後手しを、
 一方、県立門工町の選手、
 S.O.香木の選手が、勢強後手しを
 ラグビー選手権は、勢強後手しを
 分。さらにも、慶の選手
 クス種にも、選手を、
 勝はW、バングの選手
 取り入れ、勢強後手しを、
 大会出場の際、選手を、
 なる。このほか、二年生、
 西が勢強後手しを、
 風の目、なる可能性も、
 二年生、
 の勢強後手しを、
 ンが有力。F.W、バング、
 県内の選手、
 いた。ハイソーン、
 した。同波は、
 ともが、
 群、A.R.C、新人を、
 勢強後手しを、
 勢強後手しを、
 O.B.勢強後手しを、
 選手が、
 選手が、



「大会に新風を」と、選手らの練習に熱情的
 に取り組むコスモス(城崎高ラグビー)



No. _____
 Date _____

58
1
一般

40
1
選手

58.10.21

城南、脇町高など勝つ

【高松】 第五十八年度全国高校ラグビー大会、五十八年度全国社会人選手権、四国ラグビー大会、徳島選手権は、二十日、徳島工高第一、吉野川ラグビー、阿波で開幕。一回戦計10試合が行われた。

十五校が参加した高校選手権は、

真光工	24	10	徳島東工
城ノ内	30	0	徳島西工
脇町	4	0	徳島南

富岡西	26	1412	0	阿波
城ノ東	15	123	6	徳島工
徳島市立	9	9	6	北

58.10.クラブ

58.11.7

徳教群、地力みせる

高校 美馬勢同上で決勝

【高松】 第五十八年度全国高校ラグビー大会、五十八年度全国社会人選手権、四国ラグビー大会、徳島選手権は、六日、徳島工高第一、吉野川運動場の阿波で、高校ラグビーは準決勝、社会人は決勝を行った。社会人決勝は徳教群が後半、地方を見せつけて神岡製紙に決勝、四国大会第一次予選(二十日、徳島工高第一)出場を決めた。

高校準決勝第一試合、城南一真光工は前半五分、城南がハイバックからチャンスを作り、本が先制トライ。しかし真光工も五分、ラインアウト、モールから吉佐が左隅に突きさす。同点。後半に入り一進一退が繰り返されたが、ともに決めることができず、真光工が抽選勝ちした。脇町一城東の第二試合も接戦となったが、試合終了間際、脇町が大塚の突進でトライ、城東を振り切った。

真光工	4	4	城ノ内
脇町	10	4	東
神岡製紙	10	4	城ノ内
徳島工高第一	21	6	阿波
三ノ宮	16	12	ポルト

徳教群	28	6	6	神岡製紙
神岡製紙	11	6	0	0
TGP	11	6	0	0
徳島工高第一	11	6	0	0
TGP	4	3	0	0
阿波	22	後	0	6
28	計			

58.11.14

バイソン、四国大会へ進出

【高松】 第五十八年度四国クラブラグビー大会、五十八年度西国クラブラグビー大会、五十八年度最終日は十三日、吉野川ラグビー大会でバイソン、コスモスの決勝を行い、バイソンが20-8でコスモスを下して優勝、四国大会(五十九年二月・香川)への出場権を獲得した。

前半、バイソンは風上を利用してキックで攻め込み三分、コスモスゴリル前のモールから藤井が抜け出し先制、10分には右オープンに回し武知一高崎とつないでトライ、そのあとゴリル(ゴール)を加え14-0。後半のコスモスの

バイソン	20	14	0	8	コスモス
TGP	0	0	0	0	0
TGP	14	前	0	0	0
TGP	11	0	0	0	0
後	6	計			
20					

反撃をトライに抑え逃げ切った。

クラブの部が開幕

社会人対抗ラグビー

60年度全国社会人四国大会、四国クラブ、大学四国地区対抗ラグビー県予選は三日、クラブの部が開幕。1回戦2試合を行い、コスモスとオールドボーイが準決勝進出を決めた。

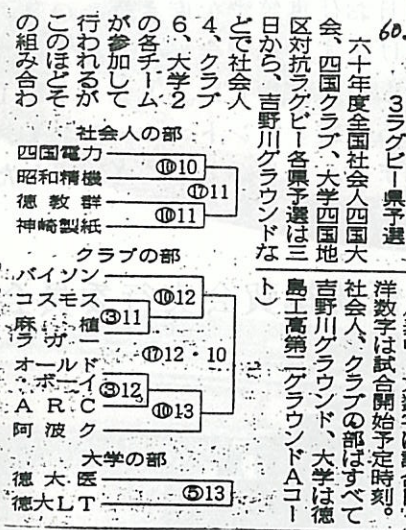
△クラブの部1回戦

コスモス	28	14	14	4	ラガI
オールドボーイ	14	4	10	6	A R C

60.11.11

◆60年度全国社会人、四国クラブ対抗ラグビー県予選第2日
 (10日) 吉野川運動場
 「社会人」1回戦 四国電力22-18 昭和精機、徳教群20-10 神崎製紙
 「クラブ」準決勝 コスモス10-4 バイン、阿波ク(不戦勝)
 オールド・ボーイ

60.11.2 組み合わせ決まる



せが別表の通り決まった。(表中、丸数字は試合日、洋数字は試合開始予定時刻)

初めてバインに勝った

力の差みせ徳教群

クラブ優勝はコスモス

初優勝

60.11.18

全国ラグビー県予選

六十年度全国社会人、四国クラブ対抗ラグビー県予選最(島土高第一)への出場権を獲得。クラブはスクラムに圧倒的で両部門の決勝を行った。社会的な力を見せたコスモスが風

会は徳教群が練習量の差を見せつけて四国電力に快勝、

60.11.17

上に回った後半、逆転に成功、そのまま阿波クを押し切った。

「社会人」決勝
 徳教群 14-0 3 四国電力
 「クラブ」決勝
 コスモス 10-0 7 阿波ク



コスモス対阿波ク 後半風上に回り強力なFW陣で攻める横ジマのジャージのコスモスに反撃する阿波ク 吉野川運動場

コスモス第21回四国クラブチーム選手権大会 初優勝記念祝賀会（1997年5月18日）のお礼

昨年は四国大会初優勝記念祝賀会を開催いたしましたところ、OBの方にはお忙しいところ、出席を賜り誠にありがとうございました。また、残念ながら当日お仕事等で欠席されたOBの方で、ご寄付を頂戴いたしましたことにつきまして心よりお礼申し上げます。祝賀会の残りと寄付金の使途を検討した結果、ジャージが古くなっていたので新しくすることになりました。1997年12月の試合に早速使わせて頂きました。ジャージのカラーは、「燃える闘紺 アントニオ・コスモス」の紺色でございます。ジャージに恥じないよう勝ち続けたいと想います。ありがとうございました。

四国大会初優勝祝賀会実行委員会 一同

優勝記念祝賀会により寄贈されたジャージ

モデル 14番 徳倉 英江
16番 松下 雅代



お礼
出席
ご寄
を檢
合
色
で



コスモスの初戦



1997、5、8
四国クラブチーム大会優勝
記念祝賀会パーティ
(徳島厚生年金会館)



37 5 18



37 5 18

1997、12、21
 コスモス・バイソン
 四国大会優勝記念祝賀会
 より寄贈されたジャージ
 での初試合



ありがとうございました

試合結果

果録合誌

練習試合

合誌管編

県民スポーツ祭 壮年の部 昭和57年11月7日

コスモス 28 $\left[\begin{array}{l} 8-4 \\ 20-0 \end{array} \right]$ 4 友惑
コスモスの初戦

FW
兼松 HB 岡部
竹内 守野
桧崎
小笠原 TB 泊
黒石 中本
新田 福田
板東 FB 牧岡
平野

昭和57年度(1982)

(S891) 更平73味留

第32回県一般選手権大会 1月30日~2月6、13、20日

会大聯手監執一果回S891

一回戦
徳大LT 6 $\left[\begin{array}{l} 0-4 \\ 6-0 \end{array} \right]$ 4 コスモス
コスモスの公式戦

FW
兼松 HB 岡部
桧崎 中田
平野 中本
桧崎 TB 泊
黒石 井出
坂東 高尾
守野 FB 重本
庄野

決勝 バイソン 22-16 オールドボーイ

昭和58年度(1983)

(S891) 更平83味留

第33回春季一般選手権大会中島杯 4月17、24日~6月12、19、26日

一回戦
阿波ク 12 $\left[\begin{array}{l} 6-0 \\ 6-4 \end{array} \right]$ 4 コスモス

決勝 バイソン 52-8 阿波ク

試合結果

練習試合

県民スポーツ祭 壮年の部 昭和57年11月7日

コスモス 28 $\left[\begin{array}{l} 8-4 \\ 20-0 \end{array} \right]$ 4 友惑
 コスモスの初戦 (1982.11.7)

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{兼松 HB} \\ \text{竹内 HB} \\ \text{桧 梶} \\ \text{小笠原 TB} \\ \text{黒石 TB} \\ \text{新田 TB} \\ \text{板東 FB} \\ \text{平野 FB} \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \text{岡部} \\ \text{守野} \\ \text{梶崎} \\ \text{泊} \\ \text{中本} \\ \text{福田} \\ \text{牧岡} \end{array} \right.$

昭和57年度 (1982)

第32回県一般選手権大会 1月30日~2月6、13、20日

一回戦
 徳大LT 6 $\left[\begin{array}{l} 0-4 \\ 6-0 \end{array} \right]$ 4 コスモス
 コスモスの公式戦 初試合 (1982.1.30)

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{兼松 HB} \\ \text{梶崎 HB} \\ \text{平野 HB} \\ \text{桧 梶 TB} \\ \text{黒石 TB} \\ \text{坂東 TB} \\ \text{守野 FB} \\ \text{庄野 FB} \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \text{岡部} \\ \text{中田} \\ \text{中本} \\ \text{泊} \\ \text{井出} \\ \text{高尾} \\ \text{重本} \end{array} \right.$

決勝 バイソン 22-16 オールドボーイ

昭和58年度 (1983)

第33回春季一般選手権大会中島杯 4月17、24日~6月12、19、26日

一回戦 (1983.4.17)
 阿波ク 12 $\left[\begin{array}{l} 6-0 \\ 6-4 \end{array} \right]$ 4 コスモス

決勝 バイソン 52-8 阿波ク

ありがとうございます

3
1982、1、30
コスモスー徳大LT
(吉野川グランド)





1983、4、17
コスモス-阿波クラブ
(吉野川グランド)



1983、11、11
コスモス・バイソン
(吉野川グランド)



第8回四国クラブチーム選手権県予選 10月30日～11月6、11日³

準決勝（公式戦初勝利） 1982.11.6

コスモス 2 1 $\left[\begin{array}{l} 15-0 \\ 6-6 \end{array} \right]$ 4 オールドボーイ

決勝（初の決勝進出） 1982.11.13 バイソンの初戦

バイソン 2 0 $\left[\begin{array}{l} 14-0 \\ 6-8 \end{array} \right]$ 8 コスモス

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{大西} \\ \text{梶崎} \\ \text{平野} \\ \text{新田} \\ \text{福山} \\ \text{山星} \\ \text{藤本} \\ \text{板東} \end{array} \right.$ HB $\left\{ \begin{array}{l} \text{田上} \\ \text{重本} \\ \text{井出} \end{array} \right.$ TB $\left\{ \begin{array}{l} \text{泊} \\ \text{中田} \\ \text{阿部} \end{array} \right.$ FB $\left\{ \begin{array}{l} \text{守野} \end{array} \right.$

第33回県一般選手権大会 2月5、12、19、26日

一回戦 コスモス（不戦勝） 麻植ラガー

二回戦

阿波ク 1 9 $\left[\begin{array}{l} 6-0 \\ 13-6 \end{array} \right]$ 6 コスモス

決勝 バイソン 18-4 阿波ク



昭和59年度(1984)

第34回春季一般選手権大会中島杯4月15、22、29日～6月10、17、24日

準々決勝

コスモス 1 4 $\left[\begin{array}{l} 10 - 6 \\ 4 - 4 \end{array} \right]$ 1 0 徳大LT

準決勝

コスモス 1 4 $\left[\begin{array}{l} 0 - 4 \\ 14 - 0 \end{array} \right]$ 4 徳大医学

決勝(2回目の決勝進出) バイソン 対 コスモス

バイソン 1 9 $\left[\begin{array}{l} 4 - 6 \\ 15 - 0 \end{array} \right]$ 4 コスモス

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{大西} \\ \text{山星} \\ \text{平野} \\ \text{吉成} \\ \text{野口} \\ \text{白川} \\ \text{梶崎} \\ \text{板東} \end{array} \right.$ HB 田上
 TB 中田
 FB 小牧
 泊
 木村
 阿部
 井出

第9回四国クラブチーム選手権県予選 11月4、11、18日

準決勝 バイソン 対 コスモス

バイソン 2 4 $\left[\begin{array}{l} 12 - 0 \\ 12 - 4 \end{array} \right]$ 4 コスモス

決勝 バイソン 3 6 - 6 阿波ク



準々決勝

コスモス 10 $\left[\begin{array}{l} 7-4 \\ 3-0 \end{array} \right]$ 4 ARC

FW

平野	HB	田上
山星	TB	
兼松		中田
采		
吉田		笠井
白川	FB	井出
梶崎		阿部
板東		守野

準決勝

阿波ク 14 $\left[\begin{array}{l} 6-7 \\ 8-4 \end{array} \right]$ 11 コスモス

FW

兼松	HB	田上
山星	TB	
平野		中田
采		
吉田		笠井
白川	FB	郡
吉成		阿部
板東		守野

決勝 バyson 18-12 阿波ク



昭和60年度(1985)

第35回春季一般選手権大会中島杯 5月3日~6月9、16、23日

一回戦
徳教群 15 - 14 コスモス

決勝
バイソン 34 - 0 阿波ク

山下 重本 吉田 中田 阿部 西川

山星 石川 前川 新田 板東

郡 平野 山星 郡 新田 一森 白川 加地 板東

第10回四国クラブチーム選手権県大会 11月3、10、17日

一回戦
コスモス 28 [14-4 / 14-0] 4 麻植ラガー

田上 重本 黒石 泊 笠井 浜田 徳永

前川 郡 平野 一森 白川 山星 加地 板東

準決勝(バイソン戦初勝利)
コスモス 10 [0-4 / 10-0] 4 バイソン

田上 重本 黒石 中田 西川 浜田 守野

前川 郡 平野 一森 白川 山星 加地 板東

決勝(阿波クラブ戦初勝利、県大会初優勝)
コスモス 10 [0-7 / 10-0] 7 阿波ク

田上 重本 笠井 泊 中田 西川 守野

吉成 郡 平野 新田 白川 山星 加地 板東

(1985.11.17)

平野 郡 石川 一森 前川 山星 板東

第34回県一般選手権大会 2月9、16、23日

2回戦
 コスモス 13 $\left[\begin{array}{l} 9-0 \\ 4-4 \end{array} \right]$ 4 ARC
 FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{一森} \\ \text{梶崎} \\ \text{平野} \\ \text{白川} \\ \text{前川} \\ \text{加地} \\ \text{守野} \\ \text{板東} \end{array} \right.$ HB $\left\{ \begin{array}{l} \text{田上} \\ \text{重本} \\ \text{笠井} \\ \text{吉田} \\ \text{中田} \\ \text{阿部} \\ \text{山下} \end{array} \right.$
 TB

準決勝
 コスモス 8 $\left[\begin{array}{l} 4-7 \\ 4-0 \end{array} \right]$ 7 四国電力

決勝
 バイソン 9 $\left[\begin{array}{l} 0-6 \\ 9-0 \end{array} \right]$ 6 コスモス
 FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{前川} \\ \text{山星} \\ \text{郡} \\ \text{野口} \\ \text{白川} \\ \text{加地} \\ \text{梶崎} \\ \text{板東} \end{array} \right.$ HB $\left\{ \begin{array}{l} \text{田上} \\ \text{重本} \\ \text{阿部} \\ \text{中田} \\ \text{吉田} \\ \text{笠井} \\ \text{山下} \end{array} \right.$
 TB

昭和61年度(1986)

第36回春季一般選手権大会中島杯 4月20日~6月29日

一回戦
 コスモス 42 - 6 昭和精機

準決勝
 コスモス 19 - 6 徳大LT

決勝(中島杯初優勝)
 コスモス 14 $\left[\begin{array}{l} 10-0 \\ 4-6 \end{array} \right]$ 6 徳大医歯
 FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{平野} \\ \text{郡} \\ \text{石川} \\ \text{一森} \\ \text{前川} \\ \text{山星} \\ \text{板東} \\ \text{麻野} \end{array} \right.$ HB $\left\{ \begin{array}{l} \text{山下} \\ \text{重本} \\ \text{田上} \\ \text{吉田} \\ \text{泊} \\ \text{笠井} \\ \text{中田} \end{array} \right.$
 TB

第11回四国クラブチーム選手権県予選 11月3、10、17日

準決勝
コスモス 22 - 0 ARC

決勝
バイソン 16 [8-6 / 8-3] 9 コスモス FW

- 郡 HB 山下
- 山星 HB 重本
- 石川 TB 泊
- 前川 TB 吉田
- 新田 TB 中田
- 浜條 FB 阿部
- 久保 FB 西川
- 麻野 FB 重本

第36回県一般選手権大会 1月25日~2月1、8、15日

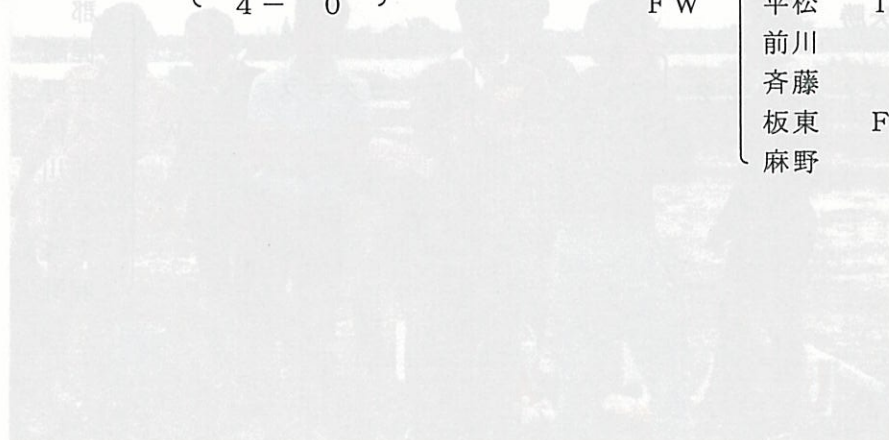
2回戦
コスモス 22 [4-6 / 18-0] 6 徳教群 FW

準決勝
コスモス 31 [11-3 / 20-4] 7 阿波ク FW

- 前川 HB 山下
- 浜條 HB 重本
- 平野 TB 黒石
- 平松 TB 吉田
- 久保 TB 泊
- 斉藤 FB 西川
- 板東 FB 中田
- 麻野 FB 重本

決勝 (一般選手権初優勝)
コスモス 11 [7-0 / 4-0] 0 バイソン FW

- 石川 HB 山下
- 郡 HB 重本
- 平野 TB 黒石
- 平松 TB 吉田
- 前川 TB 泊
- 斉藤 FB 西川
- 板東 FB 中田
- 麻野 FB 重本



昭和62年度(1987)

第37回春季一般選手権大会中島杯 4月5、12、19、26日

一回戦

コスモス 20 - 7 徳大LT

準決勝

コスモス 15 $\left[\begin{array}{cc} 4 - 3 \\ 11 - 4 \end{array} \right]$ 7 ARC

FW

石川郡	HB	山下重本
平野久保	TB	
前川	TB	吉田中田
芥藤		
板東	FB	阿部田中
麻野		

決勝(2連覇)

コスモス 9 $\left[\begin{array}{cc} 6 - 3 \\ 3 - 3 \end{array} \right]$ 6 バイソン

FW

石川郡	HB	山下重本
平野	TB	
平松		
前川	TB	中田阿部
芥藤		
板東	FB	田中
麻野		

第12回四国クラブチーム選手権県予選 11月8、15、22日

準決勝

コスモス 24 $\left[\begin{array}{cc} 12 - 0 \\ 12 - 0 \end{array} \right]$ 0 楽苦備院

決勝

バイソン 22 $\left[\begin{array}{cc} 4 - 3 \\ 18 - 4 \end{array} \right]$ 7 コスモス

FW

郡	HB	山下重本
梶崎	TB	
平野		
久保	TB	津川阿部
前川		
石川	FB	吉野
浜條		
麻野		

第37回県一般選手権大会 2月7、14、21、28日

2回戦

コスモス 7 2 $\left[\begin{array}{l} 34 - 0 \\ 38 - 0 \end{array} \right]$ 0 阿南高専

準決勝

コスモス 6 0 $\left[\begin{array}{l} 26 - 0 \\ 34 - 0 \end{array} \right]$ 0 四国電力

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{平野達 HB} \\ \text{石川} \\ \text{平野晶} \\ \text{久保 TB} \\ \text{玉谷} \\ \text{斉藤} \\ \text{板東 FB} \\ \text{麻野} \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \text{山下} \\ \text{吉野} \\ \text{浜條} \\ \text{吉田} \\ \text{中田} \\ \text{阿部} \\ \text{重本} \end{array} \right.$

決勝 (全試合完封での2連覇)

コスモス 1 4 $\left[\begin{array}{l} 6 - 0 \\ 8 - 0 \end{array} \right]$ 0 バyson

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{平野達 HB} \\ \text{石川} \\ \text{平野晶} \\ \text{久保 TB} \\ \text{前川} \\ \text{斉藤} \\ \text{玉谷} \\ \text{麻野} \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \text{山下} \\ \text{吉野} \\ \text{浜條} \\ \text{吉田} \\ \text{中田} \\ \text{阿部} \\ \text{重本} \end{array} \right.$



4	0-4	⑤
1	3	④

8
1987、2、28
コスモス—バイソン
(吉野川グランド)



昭和63年度(1988)

第38回春季一般選手権大会中島杯 4月3、10、17、24日

一回戦

コスモス 4 8 - 0 徳大医学部

準決勝

コスモス 2 8 $\left[\begin{array}{l} 24 - 0 \\ 4 - 3 \end{array} \right]$ 3 0 ARC FW

石川 郡 HB
平野達
久保 TB
玉谷
熊山
森岡 FB
麻野

山下 吉野 浜條 吉田 中田 阿部 重本

決勝(3連覇)

コスモス 2 0 $\left[\begin{array}{l} 14 - 0 \\ 6 - 4 \end{array} \right]$ 4 0 阿波ク FW

石川 郡 HB
森岡
平野達
久保 TB
玉谷
熊山
浜田 FB
麻野

山下 吉野 浜條 吉田 中田 阿部 重本

第13回四国クラブチーム選手権県予選 10月30~11月6日

一回戦(また勝てないクラブ大会予選)

バイソン 4 $\left[\begin{array}{l} 4 - 0 \\ 0 - 0 \end{array} \right]$ 0 コスモス

決勝

バイソン 2 6 - 0 阿波ク

第38回県一般選手権(リーグ戦) 2月12日~3月29日

	コスモス	バイソン	阿波ク	徳大医学	徳大LT	勝敗	順位
コスモス	-	12-4	20-4	不戦勝	不戦勝	4-0	①
バイソン	4-12	-	21-7	20-0	不戦勝	3-1	②
阿波ク	4-20	7-21	-	21-4	8-0	2-2	③
徳大医学	棄権	0-20	4-21	-	0-14	0-4	⑤
徳大LT	棄権	棄権	0-8	14-0	-	1-3	④

コスモスの
3連覇

平成1年度(1989)

第14回四国クラブ選手権大会県予選 11月19日～

	コスモス	バイソン	阿波ク	A R C	勝敗	順位
コスモス		25-4	28-20	48-0	3-0	①
バイソン	4-25		9-4	42-0	2-1	②
阿波ク	20-28	4-9		36-6	1-2	③
A R C	0-48	0-42	6-38		0-3	④

2回目の優勝
4年ぶり四国大会の
出場権獲得

第14回四国クラブチーム選手権大会

香川クラブ12 $\left[\begin{array}{l} 6-0 \\ 6-10 \end{array} \right]$ 10コスモス

第39回県一般選手権大会

	コスモス	バイソン	阿波ク	四国電力	徳教群	A R C	神崎製紙	勝敗	順位
コスモス		14-10	16-13					4-0	①
バイソン	10-14		21-0		34-4			3-1	②
阿波ク	13-16	0-21				13-0		2-2	③
四国電力					12-14		55-12	0-4	
徳教群		4-34		14-12					
A R C			0-13				42-8	1-3	
神崎製紙				12-55		8-42			

一位 バイソン
二位 コスモス
三位 阿波ク

第14回四国クラブチーム選手権大会県予選 (リーグ戦) 11月18日～

	コスモス	バイソン	阿波ク	ARC	勝敗	順位
コスモス		○	○	○	3-0	①
バイソン	×		○	○	2-1	②
阿波ク	×	×		○	1-2	③
ARC	×	×	×		0-3	④

3回目の優勝
初の関西クラブチーム
大会に出場決定

第2回関西協会クラブ大会 (ボールトーナメントB) 9月22、23日

一回戦 和工クラブ (和歌山県) 21-16 コスモス

三位決定戦 コスモス 23-17 ワッハッハクラブ (香川県)

第14回四国クラブチーム選手権大会

一回戦

嶺北クラブ18 $\left\{ \begin{array}{l} 12-12 \\ 6-4 \end{array} \right\}$ 16コスモス



平成3年度(1991)

中島杯争奪春季一般選手権大会(3年ぶりに開催された中島杯)

一回戦

コスモス 102 $\left[\begin{array}{l} 48 - 0 \\ 54 - 0 \end{array} \right]$ 0 神崎製紙

準決勝

コスモス 28 $\left[\begin{array}{l} 4 - 10 \\ 24 - 0 \end{array} \right]$ 10 徳教群

決勝(4連覇)

コスモス 19 $\left[\begin{array}{l} 8 - 9 \\ 11 - 4 \end{array} \right]$ 13 バイソン

FW
 豆成 HB 森岡
 松下 鏡
 平野達 吉田靖
 前川 TB 元木
 森本 山内
 芥藤 森
 吉田圭 FB 中川
 西原

第3回関西協会クラブ大会(ボールトーナメントB) 9月22、23日

一回戦 コスモス 24 - 6 香川クラブ(香川県)

決勝 コスモス 18 - 18 津幡クラブ(石川県)
 (両者優勝)

次年度ボールトーナメントAに昇格決定、しかし、翌年度は国体準備のためコスモスは参加せず

第15回四国クラブ選手権県予選 1月26日、2月2日

一回戦 コスモス 不戦勝 ARC

決勝

コスモス 12 $\left[\begin{array}{l} 12 - 0 \\ 0 - 9 \end{array} \right]$ 9 バイソン

第15回四国クラブ選手権大会 3月15日

ワッハッハク 20 $\left[\begin{array}{l} 10 - 4 \\ 0 - 9 \end{array} \right]$ 9 コスモス

第41回県一般選手権クラブ社会人大会

準決勝

コスモス	2 2	1 4 - 0	4 徳教群
決勝		8 - 4	
コスモス	2 2	1 6 - 8	3 3 - 8 バイソン
		6 - 0	
		5 - 3 3	FW
		5 - 4 2	不戦勝
		0 - 5 1	2 4 - 5
			2 4 - 13

豆成 HB 森岡
石川 鏡
平野達 亀井
森本 TB 吉田靖
麻野 元木
吉田圭 阿部
森 FB 佐光
西原

平成4年度 (1992)

第40回春季一般選手権 5月10日~6月14日

リーグ戦

コスモス	3 6	1 8 - 3	3 徳教群
		1 8 - 0	
コスモス	1 2	1 2 - 0	6 阿波クラブ
		0 - 6	
バイソン	1 8	6 - 0	0 コスモス
		1 2 - 0	

松本 山下 森岡
横山 鏡
小山 TB 吉岡
前川 佐光
波野 亀井
吉田圭 FB 藤田
麻野

- 一位 バイソン 3勝
- 二位 コスモス 2勝1負
- 三位 阿波ク 1勝2負

第15回四国クラブ選手権県予選 1月26日、2月2日

一回戦 コスモス 13-3 鳴門ク

決勝

バイソン 26 $\left[\begin{array}{l} 19-5 \\ 7-5 \end{array} \right]$ 10 コスモス

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{横山 HB} \\ \text{松下} \\ \text{平野達} \\ \text{森本 TB} \\ \text{鎌田} \\ \text{吉田圭} \\ \text{豆成 FB} \\ \text{前川} \end{array} \right\} \left\{ \begin{array}{l} \text{森岡} \\ \text{鏡} \\ \text{吉岡} \\ \text{佐光} \\ \text{元木} \\ \text{阿部} \\ \text{森} \end{array} \right.$

平成5年度(1993)

第18回四国クラブ選手権大会県予選 12月5日、12日、19日

準決勝

コスモス 81 $\left[\begin{array}{l} 31-0 \\ 50-0 \end{array} \right]$ 0 阿波ク

決勝

バイソン 27 $\left[\begin{array}{l} 10-0 \\ 17-0 \end{array} \right]$ 0 コスモス

FW $\left\{ \begin{array}{l} \text{豆成 HB} \\ \text{松下} \\ \text{鎌田} \\ \text{吉田圭 TB} \\ \text{前川} \\ \text{麻野} \\ \text{石川 FB} \\ \text{西原} \end{array} \right\} \left\{ \begin{array}{l} \text{森岡} \\ \text{福田} \\ \text{鏡} \\ \text{佐光} \\ \text{元木} \\ \text{阿部} \\ \text{森} \end{array} \right.$

第43回県一般選手権大会 2月13日、20日、27日

準決勝

鳴門ク 22 $\left[\begin{array}{l} 3-5 \\ 19-0 \end{array} \right]$ 5 コスモス

決勝 バyson 22-8 鳴門ク

平成6年度 (1994)

第42回春季一般選手権 4月10日～6月19日

	バイソン	コスモス	徳教群	徳大医学	鳴教大	勝敗	順位
バイソン		棄権	棄権	棄権	棄権	0-4	⑤
コスモス	不戦勝		33-5	42-5	51-0	4-0	①
徳教群	不戦勝	5-33		棄権	5-24	1-3	④
徳大医学	不戦勝	5-42	不戦勝		13-24	2-2	③
鳴教大	不戦勝	0-51	24-5	24-13		3-1	②

第6回関西クラブチーム大会 (ボールドーナメントB、3年ぶりに参加) 9月17、18日

一回戦

コスモス 14 $\left[\begin{array}{l} 7-0 \\ 7-0 \end{array} \right]$ 0都クラブ (京都府B)

決勝

コスモス 16 $\left[\begin{array}{l} 13-3 \\ 3-3 \end{array} \right]$ 6出雲クラブ (島根県)

FW $\left[\begin{array}{l} \text{坂巻 HB} \\ \text{松下} \\ \text{横山} \\ \text{小山 TB} \\ \text{前川} \\ \text{渋谷} \\ \text{吉田圭 FB} \\ \text{麻野} \end{array} \right. \left. \begin{array}{l} \text{森岡} \\ \text{鏡} \\ \text{吉岡} \\ \text{森長} \\ \text{佐光} \\ \text{亀井} \\ \text{福田} \end{array} \right.$

次年度ボールドーナメントAに昇格するはずであったが、開会式での態度が悪く(?)昇格を見送られる。

第19回 四国クラブ選手権大会県予選 11月23、30日～12月11日

一回戦

バイソン 26-5 コスモス

決勝

バイソン 棄権 ウェスタンラガー

第44回 一般選手権大会 2月12、19、26日

準決勝

コスモス	47	$\left[\begin{array}{l} 22-0 \\ 25-0 \end{array} \right]$	0 四国電力
------	----	--	--------

決勝

バイソン	21	$\left[\begin{array}{l} 21-0 \\ 0-5 \end{array} \right]$	5 コスモス
------	----	---	--------



平成7年度 (1995)

(0001) 更平8如平

第43回 春季一般選手権大会 4月11日～6月11日

	コスモス	鳴教大	徳大医学	徳教空群	阿波クラブ	バイソン	徳大歯学	勝敗	順位
コスモス		46-0	65-5	44-0	53-7	不戦勝	不戦勝	6-0	①
鳴教大	0-46		不戦勝	不戦勝	36-7	不戦勝	不戦勝	5-1	②
徳大医学	5-65	棄権		棄権	5-0	棄権	棄権	1-5	⑥
徳教空群	0-44	棄権	不戦勝		棄権	12-10	棄権	2-4	④
阿波クラブ	7-53	17-36	0-5	不戦勝		不戦勝	不戦勝	3-3	③
バイソン	棄権	棄権	不戦勝	10-12	棄権		不戦勝	2-4	⑤
徳大歯学	棄権	棄権	棄権	不戦勝	棄権	棄権			

第7回関西協会クラブチームラグビー大会 (ボールトーナメントB) 9月16、17日

一回戦 コスモス 15-7 長門ノーサイド (山口県)

決勝 コスモス 29-7 ワッハッハ (香川県)

次年度、ボールトーナメントAに昇格決定

第20回 四国クラブ選手権大会県予選 12月10日

決勝

バイソン 12 $\left[\begin{array}{cc} 5 & - & 5 \\ 7 & - & 5 \end{array} \right]$ 10コスモス

第45回 県一般選手権大会 2月25日

決勝

コスモス 15 $\left[\begin{array}{cc} 10 & - & 0 \\ 5 & - & 5 \end{array} \right]$ 5バイソン

平成8年度（1996）

第44回春季一般選手権大会 6月2、9、16、30日

	コスモス	バイソン	鳴教大	勝敗	順位
コスモス		17-34	43-14	1-1	①
バイソン	34-17		8-7	1-1	②
鳴教大	14-34	24-15		1-1	③

順位は得失点差による

第8回関西協会クラブチームラグビー大会（ボールトーナメントA） 9月14、15日

1回戦 コスモス 40-0 富山西クラブ（富山県）

決勝 コスモス 45-30 京都KOREAクラブ（京都府B）

次年度、プレートトーナメントBに昇格決定

第21回四国クラブチームラグビー選手権大会 2月16、23日

1回戦

コスモス 51 $\left[\begin{array}{l} 36-0 \\ 15-0 \end{array} \right]$ 0 みそしる家クラブ（高知県）

決勝

コスモス 24 $\left[\begin{array}{l} 14-6 \\ 10-10 \end{array} \right]$ 16 三島クラブ（愛媛県）

四国クラブ大会初優勝

平成9年度（1997）

第45回春季一般選手権大会 4月13日～6月15日

	バイソン	コスモス	鳴教大	徳大L T	徳大医歯	勝敗	順位
バイソン		25-10	59-12	30-0	31-10	4-0	①
コスモス	10-25		31-17	22-10	53-10	3-1	②
鳴教大	12-59	17-31		8-8	24-7	2-2	③
徳大L T	0-30	10-22	8-8		26-0	0-4	③
徳大医歯	10-31	10-53	7-24	0-26			⑤

一位 バイソン

二位 コスモス

第9回関西協会クラブチームラグビー大会（プレートトーナメントB） 9月20、21日

1回戦 コスモス 21-10 伊丹シティハンマーズ（兵庫県B）

決勝 コスモス 12-9 堺バーバリアンズ（大阪府B）

次年度プレートトーナメントAに昇格決定



緊急報告

第10回 関西クラブラグビーフットボール大会 プレートトーナメントA優勝
(1998、9、19~20)

1回戦

コスモス 29 $\left[\begin{array}{l} 17-10 \\ 12-0 \end{array} \right]$ 10 三菱京都OB (京都府)

FW	平野晶	HB	中本
	森岡		
	大野		古川
	麻野	TB	鏡
	吉田圭		近藤
	土肥		森真
	渋谷	FB	金井

交代 前川 (平野晶)

決勝

コスモス 23 $\left[\begin{array}{l} 12-0 \\ 15-12 \end{array} \right]$ 12 生野クラブ (大阪A)

FW	大野	HB	中本
	森岡		
	横山		森賢
	森真	TB	鏡
	吉田圭		金井
	土肥		近藤
	渋谷	FB	アンソニー

1998、9、19~20
岡山県美作ラグビー場

交代 大谷 (吉田圭)
森岡 (福島)



9月19日、美作ラグビー場メイン競技場で決勝戦が行われた。第2回大会に初参加したときから、このメイングラウンドでの試合を目標にこの大会に参加してきた。

コスモスのこの大会の快進撃には目を見張るものがある。第2回大会の一回戦でこそ破れはしたが、ボールトーナメントBの3位決定戦から、第10回大会の決勝まで実に13連勝を重ねたのだ。

最短で進めば、平成11年度の第12回大会のカップトーナメントで優勝すれば、関西協会クラブ大会の頂点に立つことになる。また、クラブチーム全国大会の出場も可能になってくる。

1981年のコスモス発足時にこの快進撃を予想できただろうか。誰もできない。ここ数年は上位のトーナメントになってきたため、試合に出ている者でさえ、試合前は勝つことを予想していない。しかし、試合が始まってしまえば勝つことにどん欲な選手たちは燃えるのである。特に今年の一戦の相手、三菱京都OBはいかにも強そうである。しかし、この試合で最年長トライ記録を作った平野(47歳、走った距離は一步)をはじめ、全員が走り三菱京都OBを圧倒した。

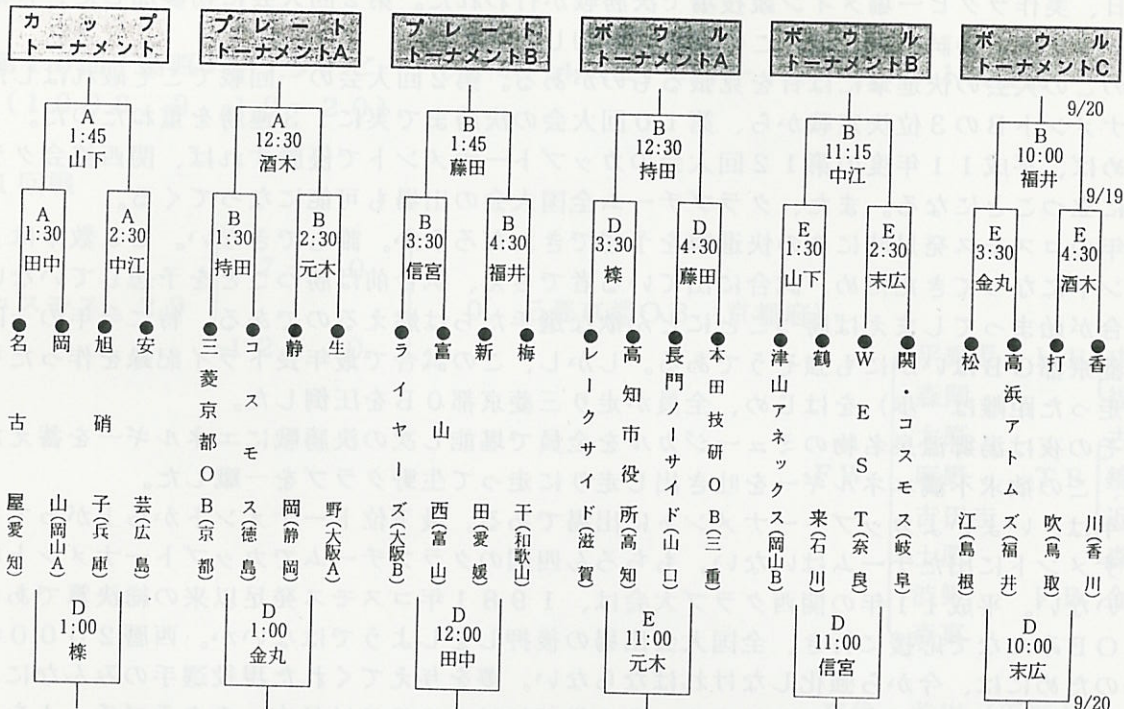
そして、その夜は湯郷温泉名物のミュージカルを全員で堪能し次の決勝戦にエネルギーを蓄えた。決勝戦では、この欲求不満エネルギーを吐き出し走りに走って生野クラブを一蹴した。

平成11年は、いよいよカップトーナメントに出場である。最下位トーナメントから上がってきてカップトーナメントに出たチームはいない。もちろん四国のクラブチームでカップトーナメントにでたチームもない。平成11年の関西クラブ大会は、1981年コスモス発足以来の総決算である。

コスモスOBみんなで応援に行き、全国大会出場の後押しをしようではないか。西暦2000年全国大会出場のためには、今から強化しなければならない。夢を与えてくれた現役選手のみんなに、OBの方々の貴重な励ましを期待しております。21世紀にはコスモスは日本一のクラブチームを目指します。



第10回 関西クラブラグビーフットボール大会組み合わせ



A 主競技場(芝) B 第1補助競技場(芝) C 第1補助競技場(クレー) D 第2補助競技場(芝) E 第2補助競技場(クレー)
 試合時間 25分ハーフ 但し決勝戦のみ 30分ハーフ 練習会場はC第1補助競技場(クレー)



コスモス 関西クラブチームフットボール大会の奇跡

第2回大会 (1990) ボールトーナメントB

一回戦 金沢クラブ (石川県) 21-16 コスモス
三位決定戦 コスモス 23-17 ワッハッハクラブ (香川県)

第3回大会 (1991) ボールトーナメントB

一回戦 コスモス 24-6 香川クラブ (香川県)
決勝 コスモス 18-18 津幡クラブ (石川県)

第6回大会 (1994) ボールトーナメントB

一回戦 コスモス 14-0 都クラブ (京都府)
決勝 コスモス 18-6 出雲クラブ (島根県)

第7回大会 (1995) ボールトーナメントB

一回戦 コスモス 15-7 長門ノーサイドクラブ (山口県)
決勝 コスモス 29-7 ワッハッハクラブ (香川県)

第8回大会 (1996) ボールトーナメントA

一回戦 コスモス 40-0 富山西クラブ (富山県)
決勝 コスモス 45-30 京都KOREAクラブ (京都府)

第9回大会 (1997) プレートトーナメントB

一回戦 コスモス 31-10 伊丹シティハンマーズ (兵庫県)
決勝 コスモス 12-9 堺バーバリアンズ (大阪府B)

第10回大会 (1998) プレートトーナメントA

一回戦 コスモス 27-10 京都三菱OB (京都府)
決勝 コスモス 33-12 生野クラブ (大阪府A)

第11回大会 (1999) カップトーナメント

一回戦 コスモス - ?
決勝 コスモス - ?



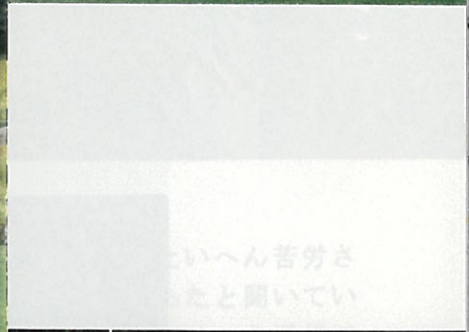
1998、9、19
 コスモスー三菱京都OB

試合後レフリーと記念撮影
 高知から応援に駆けつけた
 豆成ファミリーといっしょに



コス
 Wh

1998、9、20
コスモスー生野クラブ



コスモス初のシンビン (新ルール)
Who?

OB

プレートトーナメント A表彰式



コスモスの歴史

コスモスの歴史は、「勝土記」の編集委員より現役の部員に送るものである。

現キャプテンの渋野までのコスモスの歩んだ歴史をそれぞれのキャプテンの時代で振り返って見た。ただし、初代の中本氏については編集委員の中にいっしょにプレーした者がいないので聞き取りである。

監督	平野晶	キャプテン初代	中本（県市町村課）
	〃	二代	重本（県都市計画課）
	〃	三代	中田（徳島市立高教）
	〃	四代	山下（〇秀すし）
監督	山下	五代	麻野（阿波銀行佐古東支店）
	〃	六代	石川（貞光工高教）
	〃	七代	豆成（阿波銀行高知支店）
	〃	八代	福田（城南高教）
	〃	九代	渋野（四国化工機）

初代～二代（1981～1985）

初代～二代のキャプテンの決め方は、練習に来ない者から選出したと聞いている。（失礼しました）キャプテンにすれば練習に出てくるだろうということだ。初代の時は、ラグビー協会に登録前で、記録としては残っていないが誘惑クラブや高校チームに負けたと聞いている。今からは想像できないような話だ。当時のコスモスは部員数も少なく、大変苦勞されたようだ。85年頃になって大学の体育会系ラグビー部出身者が入るようになり、徐々に強くなっていった。その苦勞が報われたのは85年11月の四国クラブチーム大会県予選の優勝である。この時は、本当にコスモスに入ってよかったと思ったし、勝つ喜びも味わった。また、コスモス設立に携わった先輩たちは嬉しかっただろうと思います。

このころのコスモスはおそらく偏差値では全国トップレベルだった。なししろ、東大、京大、阪大出身者がごろごろいた。ある試合などは、私大出身は初代監督と四代だけであと13人は国立大学の出身だった。だから、コスモスという名前を付けたのかもしれない。

コスモスの宴会は最初は魚ちり鍋であったが、終わる頃になると初代監督の差し入れによる蟹ちり鍋に代わっていた。机の上には蟹の食べかすが散乱している状況であった。さぞかし店の人も困ったことだろう。

三代～四代（1985～1988）

三代のキャプテンは長年教員採用試験に受からず、奥さんが小さい子供をかかえてたいへん苦勞されたようだった。教員採用試験に受ければ二代から交代する約束で、数年間試験に落ちたと聞いている。このころから、全徳島で国体予選に出場するようになり、初代の全徳島キャプテンはこの三代であった。

そしていつの間にか四代かわっていた。どのようにしてかわったのか誰も知らない。今、某小学校の教員をしているH氏は、この四代が初めてコスモスに現れたとき、「君どこの大学？」と軽くランパスしながら聞いたそうである。その答えが「さんだい」だったそう。大阪にある「さんだい」と勘違いをただけでなく、後輩と勘違いをして失礼な口を聞いたそうである。その日の練習の終わり頃には真実を知らされたそうである。

このころのコスモスは、バイソンと勝ったり負けたりで、FWのコスモス、BKのバイソンで試合も白熱し、選手の家家族だけでなく、彼女もたくさん応援にきていた。この彼女たちが97年5月の四国大会優勝記念パーティに奥さんとなって多数参加していた。でも中には、違う人と結婚したり、試合毎につれてくる彼女が違う某高校教員のY氏などがいた。

また、初代監督、四代が中心となり「徳島粋なクラブ」を作り100人規模の合コン、ダンスパーティを開催したのもこの時期であった。コスモスの部員には、女の子を集めるノルマが課され練習以

上に走り回った。しかも、この「徳島粋なクラブ」がいつ解散したかは誰も知らない。コスモスの遊びの黄金期でもあった。

五代～六代（1988～1991）

五代～六代の頃はコスモスの第一期黄金期を迎え、県大会でも連勝を重ねていた時期である。しかし、なぜか四国クラブチーム大会県予選には勝てなかったようだ。

この時代はバブル絶頂期で秋田町界限もたいへんにぎやかであった。コスモスの宴会は、朝の四時五時は当たり前で、特に五代を中心としたコスモス無敵艦隊に某高校教員のN氏加わりさらにパワーアップし秋田町飲食店で暴れまくっていた。五代は外が明るくなるまで飲んで、その日の朝銀行の試験を受け行ったようだ。

また、このころに結婚式を挙げた者は、二次会はかならずコスモスの宴会付きで新妻の友達に嫌われていた。

七代～八代～九代（1991～1998）

七代の誕生は、やきそばの中から生まれた。練習後お好み焼き屋にみんなが集まり、やきそば食い放題の中でのキャプテン選出であった。

93年には東四国国体が開かれたために約1年間コスモスの活動はできなかつた。コスモスから多数の選手が国体に出場したためである。結果は、総合優勝を成し遂げ阿波国のラグビー界の歴史を作った。優勝した成年二部のキャプテンには七代が就任し、また、関西府県対抗ラグビー大会のAブロックで優勝するなど全徳島の快進撃のメンバーをたくさんコスモスから輩出した。

国体後のコスモスは一時期勝てなかった時もあったが、徐々にその勢力はチームワークとともに回復し、関西クラブチーム大会の常勝記録を作っていた。

この三人のキャプテンはたいへんよく動き、コスモスの雑用係も兼ねている。連絡係はもちろん、洗濯、飲み水の用意とたいへんよく動く。誠に頭が下がる思いである。みんなでもっと協力していかねばならないと思う。

最近思うことは、試合や練習の時にもっと彼女を連れてきて欲しい。コスモス前半の代は、試合の度に彼女や妻（愛人）の応援があり、宴会の度に乱Oパーティをしていた。私たち既婚者たちの努力が足りないのか、昔のコスモスはよく合コンをしていた。

彼女たちは、数年後にコスモス？年パーティをしたときに妻として参加しているかもしれない。コスモスは家族を大切に作るクラブでもある。

勝土記 編集委員一同

GM 山下 あいさつ

ハイ！ゼネラルマネージャーの山下です。コスモスRFC18周年記念誌にご協力ありがとうございます。ページをめくるに従って創立当初から比べると、いろんな意味でめぐめれているなあと思います。

現役の選手にとっては、トップを走って生き続けることのプレッシャーを感じると思いますが、コスモスは土台がしっかりしているので伸び伸びとこれからもがんばって欲しい。OB、諸先輩、御同輩におきましては、いつも暖かく見守っていただきたいへん感謝しております。コスモスRFCの方向性といたしましては、チームリーダーやキャプテンを中心に練習メニューの選択や試合のメンバー選びを行っています。己を励まし、人を思いやり、前よりも一歩でも上を目指そうというスタンスでやっております。

今から、コスモスRFCを二十年三十年続けて行くには年がきたから適当にやめ、新人が適当に入りチームが成り立っているようではダメです。

今からが正念場です。あなたが心を動かして下さい。そう、あなたがチームに愛を下さい。パワーを下さい。どこかで絡み合ったチェーンはもうはずせません。私たちは皆チェーンブラザーズです。

幾度となく合えることを楽しみにしています。一度かけたコスモスRFCの看板は、はずすことはできません。

「忘れぬあの日を胸に今があり、年老いても心ここに残せし、我愛する、楽・苦・美よ。
コスモスとともに・・・」

GREAT GENERAL MANIYGER YAMASITA (G・G・M・Y)



GM 山下 勝也

編集後記

徳島市の中心部を流れる新町川に有名な橋がある。その名は、「かちどき橋」といいます。今から16年前、この橋のたもとの県庁の中の一室で「コスモス」という有名なラグビークラブが生まれた。このクラブは、阿波国のラグビー史を大きく塗り替えた。

このラグビークラブは、その後多くの人たちの手によって維持、発展がなされ、今ではOBを含めると100名以上の大所帯になっているという。私たちは幸いにして、このコスモスに所属する機会を得、コスモスの雄大さ、巧みさ、そしてこの偉業の基礎を作った先人たちの想いに少し触れることができた。

コスモスも他のクラブ同様、その規模と時期の違いはあれ、平野、福田、梶崎、新田といった先人と、その偉業を継ぐ山下GMのような情熱と行動力をもつ後継者に支えられ、阿波国ラグビー界及び徳島市秋田町界限にその恵を分かち与えてきた。コスモスのラグビー協会加盟は、阿波国のラグビー界の流れと戦い、多くの人たちの思いが達成された結果である。

このコスモスの基礎を作った先人たちの愛と苦悩の日々を、後輩たちに残すため、このコスモス機関誌第一号「勝土記」に記すこととする。また、機関誌の名をコスモス発祥の地を記念して「勝土記・かちどき」とする。

構想から5年、機関誌第一号「勝土記」発行にあたり、貴重なコスモス設立当初の資料を提供していただいた方々及び執筆していただいた方々に心からお礼を申し上げます。

編集委員一同

横山 武文

前川 富昭

麻野 貴仁

松下 則之

資料提供者 梶崎 裕之 (徳島県庁)
新田 多門 (徳島県庁)
竹内 敦郎 (徳島県庁)
黒石 康夫 (徳島県庁)
中田 寛志 (徳島市立高校教)

コスモス発祥の地 かちどき橋



勝^{かち} 土^ど 記^き (第1号)

発 行	1998 年 11 月
編 集	コスモスR F C
印刷・製本	株式会社 イシダ測機 〒770-0853 徳島市中徳島町2丁目8番地 TEL(088) 625-0720: FAX(088) 625-0740 E-mail:isdsokki@mb.infoeddy.ne.jp
